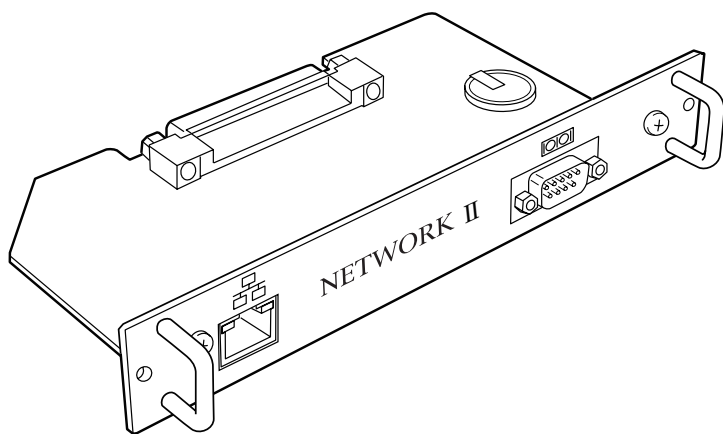


クイックセットアップガイド

ネットワークボード

POA-MD27NET



本機の取扱説明書は、PDF フォーマットにて付属の CD-ROM に収録されています。取扱説明書をご覧になるには CD-ROM をパソコンにセットし、画面上に表示される案内に従ってください。

取扱説明書を読むには Adobe Reader (Adobe Acrobat Reader) バージョン 6 以上のソフトウェアが必要です。Adobe Reader はアドビウェブサイト (<http://www.adobe.com/jp/>) からダウンロード可能です。



安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は以下のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例



感電注意

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
(左の絵表示は感電注意を意味します。)



分解禁止

⊘の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左の絵表示は分解禁止を意味します。)



電源プラグを
コンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
(左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。)



警告

- 本製品を取り付け、使用する際は、必ずコンピュータメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。



警告

- 本製品の取り付け / 取り外しをするときはコンピュータ、周辺機器の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを AC コンセントから抜いてください。
電源プラグがコンセントに接続されたまま取り付け / 取り外しを行なうと、感電および故障の原因になります。



警告

- 本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。



分解禁止

- 煙が出たり変な臭いや音がしたら、プロジェクターおよび周辺機器の電源スイッチを切り、AC コンセントから電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。



電源プラグを
コンセントから抜け

- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。内部の部品が破損し、感電や火災、故障の原因になります。



電源プラグを
コンセントから抜け

- 本製品に付属するディスクは「CD-ROM」です。一般オーディオ用 CD プレーヤーでは絶対に再生しないでください。大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損する恐れがあります。



警告



注意

- 濡れた手で本製品に触れないでください。
コンピュータおよび周辺機器の電源プラグが AC コンセントに接続されているときは、感電の原因になることがあります。



禁止

ネットワークで使用する場合の安全上の注意

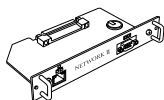
- プロジェクターより異常・警告メールを受信した場合、速やかにプロジェクターの点検を行なってください。異常のまま使用すると火災や事故の原因となる場合があります。
- ネットワークを利用し、プロジェクターを遠隔地に設置してご使用になるとき、定期的にプロジェクターの安全点検を行なってください。プロジェクターを遠隔地に設置する場合、設置する使用環境の変化について十分注意を払わなければなりません。設置した環境によっては、火災や事故の原因となります。

本製品使用上の注意

本製品の使用で生じるデータの破損・紛失、コンピュータの不具合など、コンピュータに生じる損害などについては一切当社では責任を負いません。

梱包物の確認

梱包物を確認します。本製品には、以下のものが入っています。必ず開梱時に内容を確認してください。万一、不足するものがありましたら、お買い求め販売店までご連絡ください。



ネットワークボード 1個



クイックセットアップガイド（本書） 1冊



CD-ROM 1枚
ネットワークボード取扱説明書
PJ Network Manager 取扱説明書
PJ Network Manager ソフトウェア



フェライトコア 1個

表記について

本書で説明に利用したコンピュータのOSはWindows XP Professional、WebブラウザはInternet Explorer 6.0です。これ以外の環境では、説明の手順が異なる場合があります。

動作環境

本機を使用してプロジェクターの設定や管理を行なうには、以下のコンピュータ、ネットワーク環境、およびアプリケーションソフトウェアが必要です。なお以下の動作環境は、スタンダードモード (p.11) 使用時のものです。

オペレーティングシステム		Windows 2000、Windows XP (32bit version)、Windows Vista (32bit version)、Windows 7 (32bit version)、Mac OS X 10.4, 10.5
コンピュータ環境	推奨 CPU	Pentium III 900MHz 相当以上
	メモリ	最低 64MB 以上 / 推奨 128MB 以上 (WindowsXP は 128MB 以上、Windows Vista, Windows 7 は 1GB 以上)
	ドライブ装置	CD-ROM ドライブ
	コンピュータの画面設定	VGA (640 x 480)、SVGA(800 x 600)、XGA(1,024 x 768) のうち 1 つ以上の解像度をサポートしていること。色数は 16 ビット (65,536 色)、24/32 ビット (1,677 万色) のいずれかであること。
	ネットワークカード	10Base-T または 100Base-TX のネットワークカードを備えていること。
ネットワーク環境		イーサネットが正常に動作し、TCP/IP プロトコルが利用できること。
Web ブラウザ		<ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorer バージョン 6.0, 7.0 • Netscape Navigator バージョン 7.1 • Safari バージョン 3.1 プロジェクターの設定・操作に使用します。使用するブラウザのバージョンや OS によっては画面表示のレイアウトが異なる場合があります。
プラグイン		Adobe Flash Player バージョン 6.0.81.0 以上
インターネットメーラー		<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Outlook • Microsoft OutlookExpress • Netscape Mail 本製品から送信される警告メッセージの受信に使用します。推奨するメーラーは上記の通りです。上記以外のメーラーでは、まれに文字化けを起こすことがあります。E-mail 機能を使用しない場合には必要ありません。

PDA の制限事項

本機がサポートする PDA は、ライトモード (p.11) のみに対応します。PDA の OS は「PocketPC2002」以降をサポートします。Adobe Flash Player のバージョンは 6.0.81.0 以降をサポートします。

ネットワークボードとハブ／コンピュータを接続する場合の制限事項*1

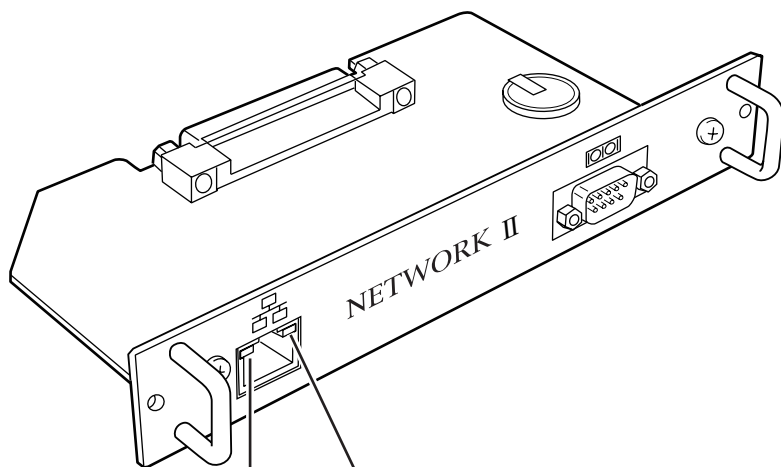
使用するケーブルの種類と長さには、次の制限があります。

接続	使用するケーブルの種類	最長距離
ネットワークボード～ハブ間	カテゴリ*2 3 または 5 対応の UTP ストレートケーブル	100m
ネットワークボード～コンピュータ間	カテゴリ*2 3 または 5 対応の UTP クロスケーブル	100m

*1 使用するネットワーク環境によっても、LAN 規格上の制限があります。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

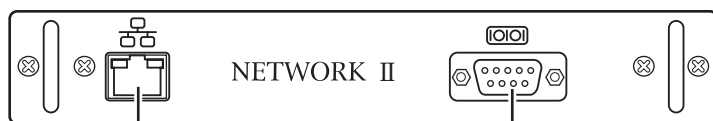
*2 ケーブルのカテゴリとは、ケーブルの品質を表すものです。通常、10Base-T ではカテゴリ 3 またはカテゴリ 5、100Base-TX ではカテゴリ 5 のケーブルを使用します。

各部の名称とはたらき



ACT インジケータ (緑)
データの送受信時に点滅します。

LINK インジケータ (橙)
ネットワークに正常に接続されている場合に点灯します。



LAN ポート
LAN ケーブルを接続します。

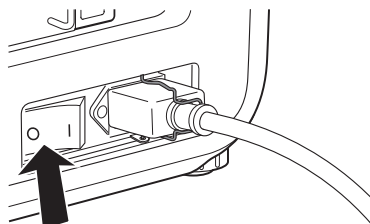
シリアルポート
外部機器をコントロールするときに
使用します。

設置とネットワークの設定

本製品の取り付け

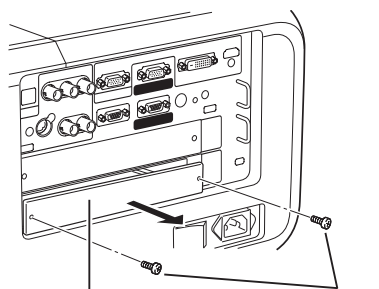
1. プロジェクターの主電源スイッチを切ります。

注意：ボードの取り付け、取り外しの際には、必ず主電源スイッチを切ってください。



主電源スイッチ

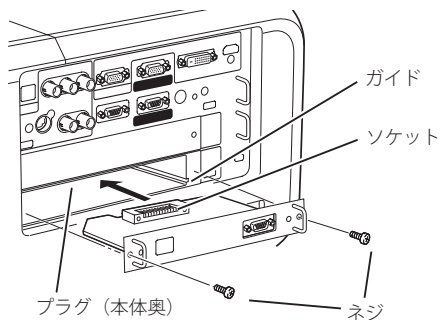
2. プロジェクターのスロットのいずれかのボードのネジ（2本）を外し、本体から引き出します。



ボードスロットカバー、
または他のオプションボード

ネジ

3. スロットのガイドに合わせて本ボードをプロジェクト本体に差し込みます。ボードのソケットがプロジェクト内部のプラグにしっかりとハマるまで押し込みます。



ガイド

ソケット

プラグ（本体奥）

ネジ

4. [2] で取り外したネジ（2本）でボードを固定します。

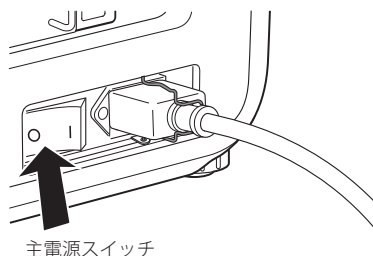
* 2 スロットモデルでの装着例

- 本製品の取り付けは、必ずプロジェクトの主電源スイッチを切ってから行ってください。主電源スイッチを入れたまま、取り付けおよび取り外しを行わないでください。故障の原因になります。
- ネットワークボードを2枚以上装着しないでください。故障の原因になります。
- プロジェクターの電源は、LAN ケーブルやコンピュータを接続した後で入れてください。
- 主電源スイッチやスロットの位置は、プロジェクトによって異なります。

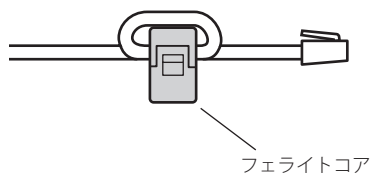
LAN ケーブルの接続

ネットワークに接続するには、RJ-45 コネクタの付いた UTP (Unshielded Twisted Pair) ストレートケーブルが必要です。ケーブルの種類は、接続するネットワークが 10Base-T または 100Base-TX のいずれであるかによって異なります。また、必要であれば、ケーブルを分配するハブ (10Base-T、または 100Base-TX 対応品) を用意します。

1. プロジェクターの主電源スイッチを切ります。

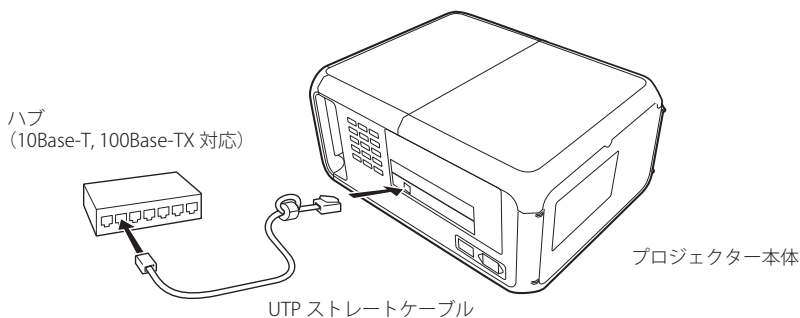


2. 付属のフェライトコアにケーブルを 1 回巻き付けて固定します。



3. UTP ストレートケーブルをネットワークボードのコネクタに差し込みます。

4. UTP ストレートケーブルをハブに接続します。



- ハブを使用しないで直接プロジェクターとコンピュータを接続する場合には、UTP クロスケーブルを使用します。
- 10Base-T のネットワークに接続するときには、カテゴリ 3 または 5 のケーブルを使用します。100Base-TX のネットワークに接続するときには、カテゴリ 5 のケーブルを使用します。
- ハブからプロジェクターまでのケーブルは 100 m 以下で使用します。
- 公衆回線に接続される場合は、必ず認定品 (電気通信事業法) のルータ等に接続してください。

ネットワークの設定

ネットワークメニューの確認

本製品をプロジェクターに取り付けると、自動的にネットワークメニュー項目が利用可能になります。利用できない場合には、取り付けが正常に行なわれていない可能性があります。「本製品の取り付け」(p.7)を確認してください。

ネットワークの設定

プロジェクターをネットワークに接続して使用する場合、プロジェクターのネットワークアドレスは、接続するネットワークグループと同じでなければなりません。まず、プロジェクターのネットワークアドレスを設定します。

例として、以下のように設定を行なう場合について説明します。

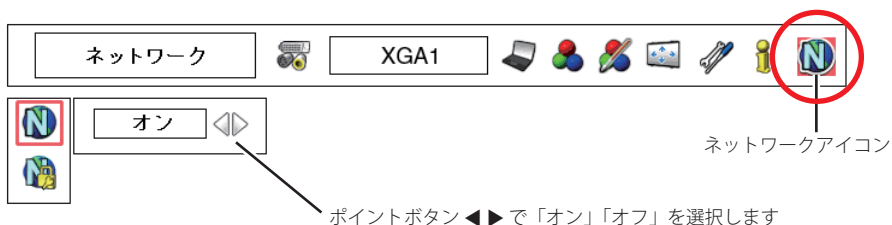
IP Address	: 192.168.1.201
Subnet Mask	: 255.255.255.0
Default Gateway	: 192.168.1.1
DNS	: 0.0.0.0

なお、工場出荷状態のネットワークボードは以下のように設定されています。

IP Address	: 192.168.0.2
Subnet Mask	: 255.255.255.0
Default Gateway	: 0.0.0.0
DNS	: 0.0.0.0

1. ネットワークメニューの選択

プロジェクターを起動し、メニュー画面を投映します。ポイントボタン▲▼◀▶を使用し、メニューから「ネットワーク」のアイコンを選択し、[SELECT] ボタンを1回押します。モードが「オン」に設定されていることを確認します。「オフ」の場合にはポイントボタン◀▶を使用して「オン」に変更します。



* プロジェクターによって表示されるメニュー項目が異なります。

④ ネットワークユニットは、モードを「オフ」から「オン」へ設定することで再起動を行いません。再起動中は「しばらくお待ち下さい」のメッセージが表示され、処理が完了するとメッセージが消えます。

2. IP アドレス / サブネット / ゲートウェイ*¹ / DNS*² の設定

[SELECT] ボタンを再度押します。下のネットワーク設定画面が表示されますので、指定されたネットワークアドレスを入力します。

IPアドレス	192	168	1	201
サブネット	255	255	255	0
ゲートウェイ	192	168	1	1
DNS	0	0	0	0

◀▶ ボタンで赤フレームを左右に動かし、▼▲ ボタンで数値を増減します。

数値の入力のしかた

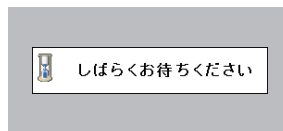
本機は IP アドレスの入力に、リモコンまたはプロジェクター本体のポイントボタン▲▼◀▶▶を使用する方法と、直接数字入力ができるスクリーン 10 キーパレットを使用する方法を用意しています。スクリーン 10 キーパレットの詳細はネットワークボード本体の取扱説明書をご覧ください。

項目	説明
IP アドレス.....	プロジェクターの IP アドレスを設定します。
サブネット.....	サブネットマスクを設定します。通常は 255.255.255.0 を設定します。
ゲートウェイ* ¹	デフォルトゲートウェイ (ルータ) の IP アドレスを設定します。
DNS * ²	DNS サーバーの IP アドレスを設定します。メール機能を使用する場合は必ず設定します。

* プロジェクターの操作方法については、プロジェクター本体の取扱説明書をご覧ください。

3. ネットワークボードの再起動

アドレス入力完了後、「セット」を選択し、[SELECT] ボタンを押します。ネットワーク設定画面が消え、ネットワークボードが再起動を始めます。再起動が完了するまでの間、「しばらくお待ち下さい」のメッセージが表示されます。この期間にプロジェクターの主電源を切らないでください。



ネットワーク設定の完了

ネットワーク設定の完了です。プロジェクターの IP アドレスは (192.168.1.201) に設定されました。

* 1 ゲートウェイ (ルータ) を使用しないネットワーク環境では、[0.0.0.0] に設定します。

* 2 メール機能や DNS サーバーを使用しない場合には、[0.0.0.0] に設定します。

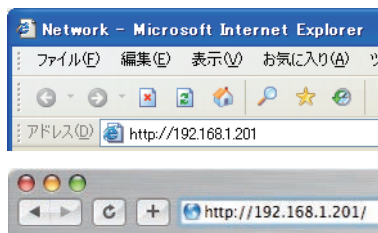
プロジェクターの設定画面にログインする

ブラウザを使用して、プロジェクターの設定画面にログインします。なお、ネットワークに接続されたプロジェクターを管理するには、コンピュータとプロジェクターがネットワークに接続され、プロジェクターのネットワーク設定が適切に行なわれている必要があります。

1. IP アドレスを入力する

Web ブラウザを起動し、「アドレス」にネットワークボードの IP アドレスを入力して Enter キーを押します。

IP アドレスは『ネットワークの設定』（p.9-10）で設定したアドレスを入力します。工場出荷状態の IP アドレスは 192.168.0.2 です。



2. 表示モードを選択してログインする

表示モードは、スタンダードモードとライトモードが用意されています。ご使用の環境に合わせて適切なモードをクリックして選択します。一度選択すると次回以降のログインでは自動的に選択した表示モードの設定画面が表示されます。表示モードを切り換えるには、設定画面 (p.12) 右下の「トップへ」をクリックして表示モード選択画面に戻ります。



スタンダードモード

パソコン表示用モードです。メニューや設定項目をグラフィックで表示します。通常はこのモードを選択します。

ライトモード

PDA 等の携帯用 PC での表示に最適化しています。また、ネットワークが遅いときに使用すると便利です。(マルチ制御機能に一部制限があります)

ネットワーク暗証番号が設定されている場合には、以下のパスワード認証ダイアログが表示されます。

「ユーザー名：user」、「パスワード（ネットワーク暗証番号）」を入力し、[OK] ボタンを押します。

*ユーザー名には、必ず「user」を入力します。

[ご注意]

初めてプロジェクターにアクセスした場合や、パスワードをなし [0000] に設定している場合は、この認証ウィンドウはスキップされ、次のメイン設定画面が表示されます。



メイン設定画面

選択した表示モードに応じて、プロジェクターのメイン設定画面が表示されます。各種リンク項目をクリックすると、操作・設定画面が表示されます。

スタンダードモードでのメイン設定画面（例）

時計表示
ON/OFF で時計の表示 / 非表示を切り替えます

サブメニュー
クリックしてサブメニューを切り替えます

ページ番号
番号をクリックしてページを切り替えます

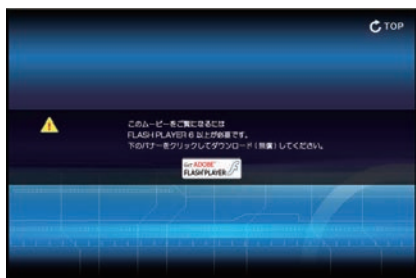
メインメニュー
クリックして設定メニューを切り替えます

設定項目
選択したメニューに対するコントロール項目や状態項目が表示されます

クリックすると表示モード選択画面に戻ります (※p.11)

※ 表示言語の切り替えは初期設定 (Initial Setting) メニューで行ないます。

⑧ で使用のパソコンに Adobe Flash Player バージョン 6 以上がインストールされていない場合には、画面の指示に従って、Adobe Flash Player をインストールしてください。詳細な製品情報及びインストール手順については Adobe 社ウェブサイト (<http://www.adobe.com/jp/>) をご覧ください。



操作・設定のしかた

設定パレット (テキストボックス設定)

項目をクリックすると設定パレットが表示されます。[▲] または [▼] ボタンを押して設定値を変更、または設定値を直接入力し、[設定] ボタンをクリックします。



その他の設定パレットのタイプ

上記以外にも以下の設定パレットのタイプがあります。いずれも項目の選択後に [設定] ボタンをクリックします。

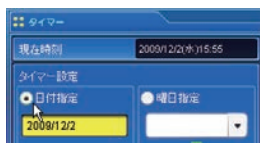
プルダウンメニュー設定

プルダウンメニューボタンをクリックして項目を選択します。または、[▲] [▼] ボタンをクリックして項目を選択します。



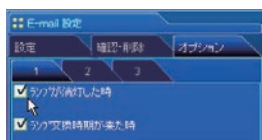
ラジオボタン設定

ラジオボタンをクリックして項目を選択します。



チェックボックス設定

チェックボックスにチェックを入れて項目を選択します。



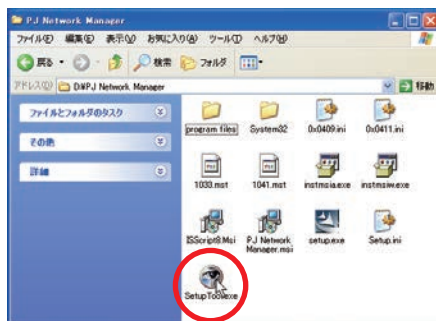
- ☞ テキストボックスの数字は現在の設定値を表します。
- ☞ 入力可能な設定値は設定項目ごとに異なり、有効範囲外の数値の入力は無効になります。また、プロジェクトの機能、および選択している入力モードによっては利用できない調整項目があります。この場合、項目の値は「---」で表示されます。

ソフトウェアのインストール

Windows 2000、Windows XP、Windows Vista および Windows 7 では、コンピュータの管理者権限でログインしてソフトウェアのインストールを行なう必要があります。また、インストールの前に他のアプリケーションを必ず終了しておいてください。他のアプリケーションが起動していると、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。

PJ Network Manager のインストール

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。CD-ROM 内「PJ Network Manager」フォルダの「SetupTool.exe」をダブルクリックしてインストールを開始します。
2. 表示される「セットアップ言語の選択」ダイアログで「日本語」を選択し、「OK」をクリックします。インストールウィザードに従ってインストールを行なってください。



● PJ Network Manager

PJ Network Manager は、プライベート MIB(Management Information Base) をサポートしたネットワーク対応機器用の SNMP マネージャーソフトウェアです。ネットワークに接続されたプロジェクターの動作状態の監視を行なうことができます。詳細な情報は、付属 CD-ROM に収録されている PJ Network Manager の取扱説明書をご覧ください。

本ソフトウェアは以下のオペレーティングシステムのみをサポートします

- Windows 2000 Professional (SP4)
- Windows XP Home Edition (SP1 以上)
- Windows XP Professional (32bit version, SP1 以上)
- Windows Vista (32bit version)
- Windows 7 (32bit version)

MEMO

